

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

城里町 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	七会町民センター「アツマーレ」は、旧七会中学校施設を利用して平成30年2月に城里町小勝にオープンした複合施設です。町役場支所機能を含む行政・防災の拠点であるとともに、施設の一部がJリーグチーム水戸ホーリーホックのクラブハウスと練習拠点になっています。廃校を利活用した行政施設とプロサッカーチームのクラブハウスの複合施設は全国で初めての例です。愛称は公募の上753件から選ばれ、「城里に集まれ」の意味が込められています。	4
2	古内大杉ばやしは、稲敷市の大杉神社から各地に広まった大杉信仰と大杉ばやし、古内の宿（しゅく）と安渡（やすど）に伝えられたことに始まります。一時中断した時期もありましたが、昭和60年のつくば科学万博出演を機に現在の三曲にまとめられ、昭和62年に町無形文化財に指定されました。大太鼓・小太鼓・横笛・鉦のほか樽も打楽器として使い、にぎやかに演奏されます。	1
3	城里町の町域は東西に約19キロメートル、南北に約13キロメートルの総面積161.80平方キロメートルです。茨城県では16番目の広さで、県の面積に占める割合は約2.7パーセントです。	3
4	黒澤止幾（くろさわとぎ）は、1807年（文化3年）高野村（現城里町錫高野）の修験者の家に生まれました。現在の常陸太田市に嫁ぎますが、夫と死別して生家に戻り、小間物などの行商で実母と二人の娘との生活を支えました。各地の文化人と交流して教養を積み、やがて生家で営んでいた私塾の師匠となり、明治6年の学制発布後は自宅の私塾を小学校として開放し、日本初の小学校女性教師となりました。安政6年には、幕府に処罰を受けた水戸藩主徳川斉昭の無実を訴えるために京に上り、幕末の女傑としても歴史に名を残しています。	4
5	八溝山系に連なる鷄足山は、標高約430メートルで、城里町と栃木県茂木町にまたがる山です。頂上からの眺望がすばらしく、東に太平洋、西に日光男体山、南に筑波山、北に那須連山が見え、さらに条件がよければ富士山もみることができます。弘法大師にまつわる伝説が多く残されており、大師が修業したという護摩焚石などが山中に残されています。	2
6	日本史上の大事件「桜田門外の変」には、城里町ゆかりの人物が二人参加しています。そのうちの一人、鯉淵要人（こいぶち かなめ）は、古内村（現城里町上古内）鹿嶋神社の神官で、襲撃の激闘で重傷を負い、同志と刺し違えて自決しました。享年51。明治となってから正五位を送られ、その墓は鹿島神社にあります。石塚村（現城里町石塚）に婿入りした水戸藩士大島誠三郎（旧名増子金八）も、桜田門外の変十八烈士の一人です。	1
7	【お米日本一コンテストin しずおか2011】で、全国各地の米がおいしさを競い、ななかいの里生産研究部会員2名のコシヒカリが最優秀賞と優良賞を受賞し、日本一おいしい米に輝きました。「ななかいの里コシヒカリ」は、同コンテストでその後も連続して上位に入賞し、安定したおいしさを維持しています。	2
8	城里町の坏地区では、地区特産品の赤ねぎ（レッドポアロー）を明治の初期頃から生産してきました。レッドポアローのポアローはフランス語でねぎという意味です。その鮮やかな赤い色と、やわらかく、甘い肉質は、鍋物・めた・サラダ・薬味などにピッタリです。	2
9	那珂川岸から御前山を望む景色が京都の嵐山に似ています。一帯ではハイキングやキャンプ、釣りやカヌーなどもでき、毎年多くの観光客が訪れています。	3
10	いきいき茨城ゆめ国体では、県立水戸桜ノ牧高等学校常北校体育館がボクシングの競技会場となります。城里町が国体競技の会場となるのは、町村合併前後を通じて今回が初めてです。	1
11	ユニカールは、氷上で行うカーリングによく似たスポーツです。3人1チームで、専用のマットの上で約8メートル先のサークルを狙ってストーンを滑らせ、最後にサークルの中心に最も近いストーンのチームが得点します。幅広い世代が気軽に参加できるニュースポーツで、町ではユニカール体験講習会も定期的に開催しています。	4
12	平成27年1月1日現在、城里町の土地のうち農地は17.8パーセントです。山林が60.7パーセント、宅地は4.4パーセント、その他が17.1パーセントです。	2
13	薬師寺（やくしじ。石塚。天台宗）、小松寺（こまつじ。上入野。真言宗）、霊源寺（れいげんじ。石塚。曹洞宗）、宝幢院（ほうどういん。那珂西。真言宗）、大山寺（たいさんじ。高根。真言宗）、龍谷院（りゅうこくいん。上阿野沢。曹洞宗）、清音寺（せいおんじ。上古内。真言宗）、仏国寺（ぶつこくじ。塩子。真言宗）、修多羅寺（しゅたらじ。小勝。日蓮宗）、徳蔵寺（とくぞうじ。徳蔵。真言宗）の10寺があり、それぞれに歴史・文化財等があります。	3
14	「春慶」は、生地に透明な漆を塗って、木目が透けて見えるように仕上げる漆塗りの技法です。城里町粟で作られてきた「粟野春慶」は、秋田県の能代春慶、岐阜県の飛騨春慶と並び称せられ、製品の中心は、盆・重箱・硯箱などです。分業制をとらず、木取りから完成までのすべての工程が同じ職人の手作業で行われています。	2
15	江戸川区と城里町の交流は、両親が旧桂村の出身だった当時の江戸川区議会議員の呼びかけで、平成元年度の江戸川区民まつりに旧桂村が参加したことが始まりです。平成27年には災害時相互支援協定を締結し、さまざまな交流イベントを実施しています。	1
16	大正15年に開業した茨城鉄道は、「いばてつ」の愛称で親しまれ、城里町の常北・桂地区と水戸を結ぶ重要な交通手段でした。昭和19年に茨城交通茨城線となりましたが、戦後は社会事情の変化により数次にわたって路線が短縮され、昭和46年に全線廃止となりました。	4
17	高取鉱山は桂地区と七会地区の境にある高取山を中心とする区域で、約400年前の佐竹藩時代に開かれました。当時は金の採掘が主な目的でしたが、同時に銀、錫（すず）も掘っていました。明治時代には、タングステンの材料として鉄マンガン重石を採掘し、タングステンの生産量では、全国有数の規模を誇りました。大正3年に第一次世界大戦が勃発すると、重石の需要は増大し、鉱山は急激に発展しました。大戦後は事業を縮小し、昭和60年に操業を停止しました。	4
18	城里町にある国指定重要文化財は2つで、いずれも彫刻です。石塚の薬師寺の木造薬師如来及両脇待像（もくぞうやくしによらいおよびりょうわきじぞう）は、薬師座像と両脇待の三像で、薬師像には銅造の胎内仏が納められています。上入野の小松寺の木造浮彫如意輪観音像（もくぞううきぼりによいりんかんのぞう）は、平重盛の守護仏と伝えられ、縦横約8センチメートルの大きさながら、精巧な作りです。	2
19	頓（徳）化原（とっけはら）古墳は、茨城県埋蔵文化財センター（旧北方小学校）に隣接する全長35メートル、高さ1.5メートルの古墳で、7世紀頃に作られました。城里町内の遺跡では唯一明確な石室が残されており、町文化財に指定されています。	3
20	日本自動車研究所城里テストセンターは2005年につくば市から移転した自動車の実走行試験施設です。約302万平方メートルの広大な敷地内には、一周5,500メートルの高速周回路をはじめ、自動車の様々な走行試験に対応できる設備を備えています。	1
21	チツゼミは9月～10月にみられる日本最小のセミ（沖縄を除く）で、大きさは25～30ミリメートルくらいです。御前山の山頂近くでみられ、ジジジと鳴きます。	4
22	1695（元禄7）年、古内地区の清音寺を訪れた徳川光圀が詠んだ漢詩の中に「竜茶を喫す」と表現されています。光圀は供された茶の香味を賞し、その母木を「初音」と名付けました。このお茶は当時、清音寺の境内だけに栽培されていましたが、その後古内地区一帯で広く栽培されるようになったといわれています。	2
23	城里町の花・木・鳥は、城里町誕生の翌年の平成18年に制定されました。町の花は山ゆりで、町内の山野に多く自生し、初夏に咲く清楚で可憐な花です。町の木はスダジイ、町の鳥はうぐいすです。	3
24	笠間街道にあった勝見沢隘道は1869（明治2）年、水戸藩によって開削されましたが、当初は人ひとりがやっと通れるほどの狭いもので「鎌倉坂洞門」と呼ばれていました。40年後の1909（明治42）年、拡張工事が行われて物資を運ぶための荷馬車等が通れるようになり、1951（昭和26）年にコンクリート舗装工事が行われました。1992（平成4）年に新しい道路ができ、その役割を終えました。	4
25	「青山花しょうぶ園」では、毎年6月、1万2千平方キロメートルの土地に約70種類、1万6千株のハナショウブが咲きます。アヤメとハナショウブとカキツバタはいずれもアヤメ科でよく似ていますが、生育適地はそれぞれ乾いた土地、湿った土地、水辺の土地と違います。「青山花しょうぶ園」は1998年に地域の人が1株ずつ植えたのが始まりですが、今では大勢の人が鑑賞に訪れます。	3